

事務事業名		よしだ福祉会活動補助事業		所属部	吉田総合センター	所属課	市民福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	市民福祉G	課長名	和泉博之
	施策名	(25) 地域福祉の充実		担当者名	和泉博之	電話番号	0854-74-0215
	目的: 対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。		(内線)	4401
	基本事業名	(075) 支え合う地域づくり		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	社会福祉総務管理事業	
目的: 対象	市民	意図	地域で支え合う体制をつくる。		項 目 中事業 中事業名	よしだ福祉会活動事業補助金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
社会福祉の能率的運営と組織的活動を促進し、地域福祉の増進を図るため、法人の運営費を補助する。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 社会福祉法人よしだ福祉会からの申請に基づき、補助金を交付。	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 平成28年度と同じ				
② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	補助金額	千円	7,200	7,128	7,070	7,070
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	市民		ア	雲南市の人口	人	39,472	39,032	38,506	38,477
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	・市民が必要とするときに、安心して高齢者等に対するサービスを利用していただく。		ア	「ケアポートよしだ」の延べ利用者数	人	8,079	7,023	7,903	7,900
イ			「とちのみ」の延べ利用者数	人	260	255	248	250	
ウ			「ふかのの里」の延べ利用者数	人	257	247	259	260	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
法人の運営助成(補助金)7,070千円		事業費内訳	財源	国庫支出金	千円			
				県支出金	千円			
				地方債	千円			
				その他	千円			
				一般財源	千円	7,200	7,128	7,070
			事業費計(A)	千円	7,200	7,128	7,070	7,070
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2			
	延べ業務時間	時間	65	65	65			
	人件費計(B)	千円	253	254	258			
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,453	7,382	7,328			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
法人を運営するために必要な経費の主な収入は介護保険に関連する事業による収入。介護予防や健康づくり事業など介護サービス以外の事業も展開し、地域福祉の拠点となる事業者である。安定した法人運営と地域における介護サービス事業を継続するため、活動事業補助を継続している。	市からの補助金を年々減額し、自己資金による法人運営を目指して取り組んでいるが、この法人設立時の経過により、完全な自己資金による運営へ改善することができていない。	行政の施設として整備した施設と設立した法人である。合併後も、地域の住民が介護予防活動を行うことができたり、安心して介護サービスが受けられるように行政の支援を継続すべきである。

事務事業名	よしだ福祉社会活動補助事業	所属部	吉田総合センター	所属課	市民福祉課
-------	---------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
C 効率性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	
	理由	在宅福祉を行うことが中心の施設を運営する社会福祉法人であるため、収益が少なく、経営面に不安がある。施設の規模、設備等から自立的な収益を得る事業を展開しにくい。さらに平成6年に竣工した施設は、年数の経過により施設や設備の維持管理費用が増えてきているなど、自己資金の積立てや確保が困難である。	
D 公平性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	
	理由	法人の安定した運営が困難になり、介護保険関係サービスの低下につながる。	
A 目的 妥当性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	
B 有効性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	理由	度重なる予算削減で大幅に減額しており、更なる削減は困難である。	
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	
	理由	この法人の地域での福祉活動や役割について検討する会議等に職員の関わりがあるが、その他に費用負担がある関わりはない。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	
	理由	施設のサービスを受けたり、施設を利用する人の大半は市民である。	
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			合併後の市の予算削減による影響は、法人にとって大きかったと思われるが、行政施策の継続により、法人運営は適切になされてきた。よしだ福祉会は、旧吉田村が設立した法人であるが、合併後は雲南市全体を意識した法人運営をしている。
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
法人の持つノウハウを活かし、合併後、「身体教育医学研究所うなん」への強い関わりを持ち、行政とともに市民の介護予防事業や健康づくり事業へ関わってきている。介護保険事業のほかに、高齢者生活支援ハウス事業委託により高齢者の在宅生活を支え、リフレッシュセンター運営事業により市民の健康づくりに関わっている。また、広いスペースを活用し地域のイベントの場となるなど役割は多い。今後も、事業者の努力を促進しながら、行政による支援が必要である。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			